

2007 年度第 6 回教育研究審議会議事要録

日 時 2007 年 7 月 12 日 (木) 13 時 30 分～16 時 5 分
場 所 学術センター3 階会議室
出 席 者 坂本学長、米田理事、植田理事、古田理事、森教授、濱田教授、
下田教授、道盛教授、中嶋准教授、丹下教授、西戸准教授、加来准教授、
関野准教授

配布資料 1. 「キャリアセンター」構想案
2. 公立大学法人下関市立大学受託研究規程 (案)
3. 下関市立大学教員の研修出向に関する運用内規 (案)
4. 教員の公募について
5. 下関市立大学名誉教授推薦調書
6. 平成 19 年度監査計画書
7. 新学科設立に関する報告書 (2)
8. 審議等スケジュール(案)

議題及び審議状況

議題 1 キャリアセンターについて

金子就職委員長が配布資料 1 に基づき説明をした。

- ・ キャリアを自主的に設計する能力の育成等をめざすものである。
- ・ 進路全般に関するアドバイスをを行い、今まで以上に学生のニーズに応じていく必要がある。
- ・ 学務グループ内の他班との相互協力が必要である。
- ・ 生き方、学び方を前面に出すのであれば、就職相談員は、就職専門の委員だけではなく、他の者も入ったほうがよい。
- ・ キャリアセンターの機能としては、いろいろ盛り込みたいが、まずはできるものから順次行いたい。

議題 2 公立大学法人下関市立大学受託研究規程(案)について

五十嵐総務グループ長が配布資料 2 に基づき説明をした。

- ・ 受託の決定プロセスで、理事長が学長の意見を聴くとなっているが、審議会に諮る必要はないか。
- ・ すべてを審議会に諮るとなると話を受けてから決定するまで時間がかかるがいかがか。例えば複数教員が関わるようなものなどを審議会にかけて審議するという方法もあると思う。

- ・ 法人に金銭が入ってくる以上、きちんと対応すべきである。
- ・ どのような場合に審議会に諮るか、ケース・バイ・ケース。この判断は難しいのではないか。
- ・ 第4条、第11条を検討しなおし、9月の審議会で再度審議することとした。

議題3 教員の長期研修について

坂本学長から溝渕准教授の国外研修について提案があり、承認された。

併せて、下関市立大学教員の研修出向に関する運用内規(案)が示され、意見を交わした。

- ・ 私費の長期研修は、この内規の適用をうけるか。受けない場合は、どのような手続きになるか、今後検討する必要がある。

議題4 教員採用方針について

坂本学長が配布資料4に基づき説明を行い、原案通り承認された。今後、教授会の意見を聴き、異論がなければ、採用手続きに入ることとした。

議題5 名誉教授の称号授与について

坂本学長が配布資料5に基づき説明を行い、原案通り承認された。

報告1 教員採用方針(6月14日分)について

坂本学長から、6月14日に審議した教員採用方針について、6月21日の教授会で異議なく承認され、採用手続きに入ったことの報告がなされた。

報告2 中期目標及び中期計画について

事務局から中期目標の指示(6月26日付)及び中期計画の認可申請(7月11日付)の報告を行った。

報告3 平成19年度監査計画について

事務局が配布資料6に基づき平成19年度監査計画の報告を行った。

報告4 新学科設立準備委員会の検討状況について

坂本学長が配布資料7に基づき検討状況の報告を行い、委員が意見を交わした。

- ・ 東アジア関係は国際商学科の国際商学コースの充実で対応を考えている。
- ・ 同じ地域志向でも、地域経済コースは深まりをもたせ、公共マネジメントコースは広がりをもたせたいと考えている。
- ・ 「公共マネジメント」はイメージが難しい。「公共性の感覚をもった企業人の育成」をどこまでアピールできるかが重要である。

その他

次回は、9月上旬に開催予定。議題は、新学科方針について等。